



笑顔で「おもてなし」のスペシャリストへ 青森中央経理専門学校 観光コンシェルジュコース 開講

平成20年10月、日本における「観光立国」の推進体制を強化するために観光庁が発足し、観光分野における専門的な人材育成や誘致戦略など様々な観光施策を押し進めている。こうした状況を受けて、青森中央経理専門学校では平成23年度より、観光コンシェルジュコースを開講する。

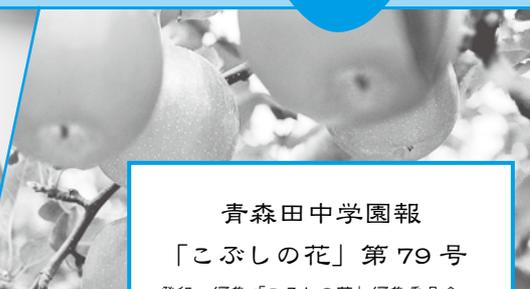
いよいよ12月に東北新幹線が全線開通の運びとなり、新青森駅が開業するが、これによって城下町、弘前と太宰のルートをたどる津軽路、世界遺産の白神山地、四季を通して人気を呼ぶ十和田湖、多彩な表情を持つ下北、国宝「赤糸織鎧兜」を所蔵する八戸など、青森を売り込む機会が大幅に増大する。

そこで観光コンシェルジュコースでは、会計科目やIT科目と並行し、観光業界のスペシャリストを目指すのに必要な企画力、情報収集・分析・行動力、ビジネスマナーなどの知識を学び、国家資格である国内旅行業務

取扱管理者試験や総合旅行業務取扱管理者試験、旅行地理検定など資格取得を目指すことを目標として掲げている。また、ホテルや旅行会社等で実習経験を蓄積させることで観光業界の即戦力となる人材の育成が図られる。

本校ではすでに経理事務コース、医療事務コースを開講しており、それぞれの分野のプロフェッショナルになることを目指し、生涯を通して人の役に立つために学び続ける目的意識と、相互理解に向けて努力する精神を備え、何事にも真摯にチャレンジできる学生を養成している。新しく設けられる観光コンシェルジュコースではさらに、ホスピタリティの精神、行動力、旅行・観光・運輸関係への関心、観光に関する企画・開発への情熱を持って、観光業に従事しようと考えている志願者を、充実したカリキュラムによって時代が求める人材へと育成したい。

こぶしの花



青森田中学園報

「こぶしの花」第79号

発行・編集：「こぶしの花」編集委員会

発行日：2010年12月1日発行

〒030-0132 青森市横内字神田12番地

tel: 017-728-0131

fax: 017-738-8333

<http://www.aomoricgu.ac.jp>

<http://www.chutan.ac.jp>

2010 青森ねぶた祭 体験記

8月2日(月)・3日(火)参加



幼稚園・保育園

「鬼若丸の鯉退治」を題材にした勇壮なねぶたを従え、今夏の暑さを物ともせず、元気いっぱいに参加した青森ねぶた祭合同運行。

また、子どもたち自慢の前ねぶたは、毎年恒例の年長児合同合宿保育できれいに色付けした、かわいらしいディズニーキャラクター達でした。

「ラッセラーラッセラー」と力強い掛け声で友だちと輪になり楽しく跳ねたり、手振り鉦を響かせ沿道の観客を沸かせた子どもたち。「かわいい」「がんばって」と、たくさんの声援と拍手をいただきました。子どもたちにとって心に残る、暑い2日間となりました。

専門学校

私は青森ねぶた祭りが大好きで、毎年跳人として参加しています。今年は囃子方として参加することになり、ずっとやってみたいと思っていた手振り鉦を担当しました。ねぶた祭り当日はさきがけとしてトラックに乗り、鉦を鳴らしました。青森ねぶた祭りを見に来てくれたお客さんと一緒になって盛り上がる事ができて、とても楽しかったです。これからも伝統ある地元祭りに参加していきたいと思ひます。

(青森中央文化専門学校2年 長内麻耶)

青森中央短期大学

私は今回初めてねぶたへ参加しました。テレビではねぶたを見たことがありましたが、参加するのはもちろん、実際に見るのも初めての経験でしたので、とても楽しみにしていました。私は流し踊りに参加し、青森市内を踊り歩きました。暑い中歩くのは大変でしたが、沿道のお客さんに扇いでもらったりして、暑さや疲れも忘れて楽しむことができました。生で見たねぶたは想像以上に迫力があり、すごく感動しました。貴重な体験ができて本当によかったです。

(食物栄養学科1年 赤石 祐里)

初めて参加した青森ねぶた祭りで担当したさきがけ太鼓は、とても責任のあるパートで、とても達成感がありました。練習も先輩たちと一緒に頑張り、当日は雨の心配もありましたが、無事終えることができとても良かったです。来年もまたみんなの先頭に立ち、先輩としてさきがけ太鼓を叩きたいと思っています。

(青森中央経理専門学校1年 成田真平)

青森中央学院大学 8月4日(水)・5日(木)参加

ねぶた実行委員長より

青森中央学院大学は、運行団体である消防第二分団ねぶた会・アサヒビールとの協力で、8月4・5日の2日間、1年生130名がハネトとして青森ねぶた祭へ参加しました。両日ともに天候に恵まれ、日本人学生も留学生も、おもしろい元気で声を出し、踊り跳ね、大いに盛り上がる事ができました。無事に運行を終えられましたことに対し、関係各位の皆様へ感謝申し上げます。

(青森中央学院大学ねぶた運営委員長 新免圭介)

ねぶた体験記

弘前市出身の私にとって、青森ねぶた祭への参加は、実は生まれて初めての経験です。ねぶた祭は、いろいろな年代の人々が触れあい、感動や達成感を分かち合える場であると、私は考えます。青森県が誇る伝統行事であるねぶた祭へ、来年迎える後輩のみなさんにも、ぜひ参加してもらい、この感動を体感してほしいと思います。

(経営法学部1年 葛西寛人)

初めて参加したねぶた祭は、感動的な体験でした。ハネトの衣装の色使いが面白く、青森の伝統に触れた気がしました。青森県の全員が、ねぶた祭を観に来ているように思えるほど、多くの人でにぎわっていました。みんなと一緒に踊ったり跳ねたり、とても楽しく盛り上がりました。これから毎年、ねぶた祭に参加したいと思います。

(経営法学部1年 チンダークン・スキット [タイ])

沿道には大勢の観客が詰めかけ、活気にあふれていました。観覧席の前でねぶたが回転するたびに、観客から盛んな拍手が送られていました。「ラッセラー、ラッセラー」という独特の掛け声とともに、私たちは熱気につつまれ、力強く飛び跳ねたあつという間の2時間でした。ねぶた祭は、青森での楽しい思い出になりました。

(経営法学部1年 チン・リ・リン [マレーシア])



青森中央学院大学



9月18日・19日に翔麗祭が行われました。両日ともに盛況でしたが、特に2日目はあいにくの雨にも関わらず、たくさんの方にご来校頂きありがとうございました。今年の翔麗祭を振り返ると準備段階からたくさんの方が問題があり、本当に苦労が絶えず、準備に夜遅くまで残る日々、家に帰っても思い悩み、夢にまで出てくるほどでした。しかし、そうしたこともあり、当日は余裕を持って迎えることができました。滞りなくというわけではありませんでした。何とか無事に大きな仕事を終えることができました。これも翔麗祭に携わって頂いた皆様のおかげです。ありがとうございました。

(翔麗祭実行委員長 高谷温子)

青森中央短期大学



9月18、19日に学園祭が行われました。今年短大開学40周年という節目の年でもあり、学園全体が一丸となって準備、運営にあたりました。私にとって、この翔麗祭は学園生活最後の学園祭でした。準備の日々にはいろいろな苦労がありましたが、その分大きな達成感があり、とても充実した2日間になったと思います。天候には恵まれませんでしたが、学生1人1人が自分の仕事や発表に一生懸命取り組んでいたと思います。来年への課題はたくさんありますが、次の2年生にしっかり引継ぎをし、今年を上回る学園祭にして欲しいと思います。最後にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(翔麗祭副実行委員長 石川真祈)



青森中央文化専門学校

コスチュームショー

テーマ「chronicle(年代記)」と題して、服装史で学んでいる時代ごとの特徴あるデザインを再現すると同時に、学生各自の現代のデザイン要素を組み合わせた衣装を発表しました。



今年のコスチュームショーはテーマ「chronicle～過去なう未来～」を掲げ、縄文から現代、そして近未来に至るまでの年代別に作品を制作しました。

今年は留学生の皆さんにもモデルとして協力してもらい、皆で団結することができたと思います。

また、各々が個性を最大限に発揮し、自分の作品こだわりを持って制作できたと思います。

(翔麗祭副実行委員長 豊川茅)

青森中央経理専門学校

経理事務コース「マネー・ザ・ベストテン～あなたの気になるお金は何位にランキング?～」、医療事務コース「知って役立つ!医療用語～健康診断などで行われる検査。どんな検査でいくらかかっているの?～」という内容で展示を行いました。



今年の学園祭は、急遽模擬店の内容が「ドーナツ」から「からあげ」に変わるというハプニングもありましたが、みんな一致団結してがんばったおかげで何とか無事成功させることができました。また、1年生にとっては初めての専門学校の学園祭ということもあり、いろいろわからないことだらけだったかも知れませんが、今年経験したことを来年の学園祭へ活かしてもらいたいと思います。

(翔麗祭実行委員長 名古屋幸佑)

青森中央学院大学

前期学位記授与式

去る9月8日、秋期入学者を対象とした前期学位記授与式および卒業祝賀会が行われた。

当日は晴天に恵まれ、マレーシアからの留学生2名、中国からの留学生5名、そして日本人1名の計8名の卒業生に学位記が授与された。中村学長式辞の後、在校生代表、ライ・チャウ・リンさんによる祝辞に続き、卒業生代表タン・シェン・フェンさんによる感謝の言葉が述べられた。

卒業祝賀会では、卒業生各位による在学生活の思い出や今後の抱負が述べられた。また、先輩を歓送する在校生や教職員との懇談が和やかな雰囲気の中で行われた。



札幌大学での学生FD会議参加報告

大学改善 (Faculty Development, 以後FD) というと、主として教授法が俎上に載る。学生は一般的には評価者として関わる程度であるが、より主体的にFDに関わり、学生たちが出来ることを探そうとする試みが学生FD会議である。本学から学生FD会議に参加した佐藤雄真君に率直な感想を寄せてもらった。



私達 (学院大3年生3名) は、8月21日に札幌大学で行われた「学生FD会議」に参加した。学生FD団体というものを知らなかった私にとって、FDについて他大学の学生や教職員と議論するという経験は、大変新鮮なものだった。とりわけ、札幌大学で行われている学生が受けた内容の授業を先生に行ってもらおうという取り組みは、興味のある分野について詳しく学べるので、本学でも是非実現して欲しい。

(経営法学部3年 佐藤雄真)

内山ゼミ 白神山地調査

スタジオジブリの「もののけ姫」の舞台として話題となった白神山地を内山ゼミのメンバーが訪ね、手作り観光マップに取り上げる観光素材を調査した。これまで夏休み期間中に2度現地調査合宿を行い、山深い自然や赤石川の溪流、ダイナミックなくまの滝などを探査した。また、鱈ヶ沢町は山海の産物が豊かで、イカの天日干しの風景は日本海沿いの風物詩であった。イカ焼きももうまく、最近ではブサ・カワ人気の「ワサオ」(雑種犬)の映画撮りも進んでいる。廃校の教室での宿泊や木工作業なども体験し、マップ作りの素材を数多く収集した。



佐藤ゼミ 下北地域調査

佐藤淳ゼミの3年生は、ゼミ合宿をかねて、県庁下北地域県民局の「観光人材育成事業」とタイアップし、去る9月2日・3日、1泊2日の日程で、下北半島の観光資源調査を行った。むつ工業高校との観光をテーマにした意見交換をはじめ、尻屋崎の寒立馬、恐山、薬研溪谷、下風呂温泉、大間のまぐろ、仏ヶ浦、川内川溪谷、脇野沢の野猿公苑等、下北の主要観光資源をくまなく回った。今後は、調査で体感、発見できた下北の良さを自分達で発信するために何が出来るか、地域活性化に向けた提言を考えていく計画である。



キャリアアップ・ワークショップ eコマースかめあしゼミ編

本学2年生は今年も「キャリアアップ・ワークショップ eコマースかめあしゼミ編」にチャレンジしています。昨年導入された本プログラムは、参加した学生が優良県産品を①開拓し、②販売許可を受けるための交渉を行い、③自分たちの手で商品頁を制作して、実際にインターネット上で実売するという、ビジネスそのものと言える内容をもっています。今年度はこれに加え、さらに④広報戦略も展開しているのが特徴です。

4月から準備を開始しましたが、参加したのは2年のキャリア・プランニング履修者全員と3年の有志で、このうち、最終的に15のチームが8月末からの商品実売にまでこぎ着けました。中には、県や市の関係部署に広報活動を行う学生、学園祭で商品を実売する学生など、機会を見つけては積極的にプログラムに取り組む姿勢を見せるケースもあり、意義ある経験となっています。販売は12月末まで。ぜひ、本学学生たちが選んだ青森県の「うまいもの! イチオシ!」をご利用下さい。

(キャリア支援委員会)

販売サイト かめあし商店本店: <http://cameashi.net/>

かめあし商店楽天市場店: <http://www.rakuten.ne.jp/gold/cameashi/>



海外留学プログラム

【上海大学】

中国語が全く話せないままの留学で最初はとても不安でした。実際、最初の1週間は、授業にとってもついていけませんでした。耳が慣れるにつれ、徐々にコミュニケーションができるようになり、中国人だけではなく様々な国の人と会話ができるようになりました。海外での生活に不安を感じていた私ですが、思い切って中国に行ったことで、文化や価値観の違いを学び、自分の視野を広げることができたと感じています。自分の様々な可能性を広げるためにも留学をお勧めします。

(経営法学部3年 小澤亜里沙)

※この他、経営法学部3年 木浪紀子さん・源新啓介さん、
2年 塩谷実紀子さんが参加

【ペノブスコット語学学校】

学校では午前授業、午後はセーリングや買い物などの課外活動が多かったので、米国での日々をとて満足することができました。何よりの収穫は、国際色豊かな仲間たちとの交流です。昼食と夕食は学校で作ってみんなで食べるので、私達は日本食で彼らをもてなしながら、イタリアやスペインの生徒による本場のパエリアやカルボナーラを味わうことができました。メイン州は治安も良く、自然が豊かな地域なので、心身ともに穏やかな環境を求める人は、ぜひこのプログラムに参加することをお勧めします。

(経営法学部3年 加藤翼・古川美穂)

青森県庁での留学生インターンシップ



わからない事ばかりの私は、初日からとても大きな不安を抱えていたが、親切な国際交流推進課の皆さんの顔を見て、すぐに安心することができた。実習中は、いろいろな仕事を体験させてもらったが、職員の皆さんが青森県民のため、一生懸命仕事をする姿を見て感動させられた。

現在の自分の夢は日本で就職することだが、実習前、自分の頭の中にあった就職とは、実体を持たない夢のようなあやふやな存在だった。しかし、今回のインターンシップをきっかけに、自分の実力の足りない部分を感じながらも、将来は世界に関わりを持つ仕事に携わりたいという強い気持ちが生まれた。後学期が始まって、実習で学んだことを大切に、関わった皆さんのような立派な社会人になれるように頑張りたい。

(経営法学部4年 車路遥)

日本語スピーチコンテスト

9月18日、翔麗祭において国際交流センター主催「第8回日本語スピーチコンテスト」が開催された。コンテストでは、中国、ベトナム、タイそしてブラジルからの10名の留学生および研修生が、青森の文化や言葉、生活、自然、家族の大切さなどについてスピーチし、日頃の日本語学習の成果を披露した。特別審査員をお願いした青森県国際交流推進課長をはじめ、本学と相互連携・協力している団体の代表者たちからは、「皆熱心であり、素晴らしいスピーチだった」と講評をいただいた。



◆上位入賞者◆

最優秀賞：ヴォン・ゴ・フォン・ザン、ベトナム

優秀賞：万宇、中国

国際交流センター長賞：ホアン・トゥ・トゥイ、ベトナム

ボクシング部国体出場！



9月30日から行われた第65回国民体育大会に出場することが出来た。大学生活初の全国大会だったので、いつも以上に緊張した。私の初戦の相手はオリンピック出場経験のある選手で、試合前は不安でいっぱいだった。それでも自分の出来ることを精一杯やろうと意気込んで試合に臨んだ。結果は棄権負けだったが、全国トップクラスの選手と試合が出来たのは貴重な経験になった。この経験を糧に日々の練習に力を入れ、来年こそは全国大会での一勝を目標に努力していきたい。

(経営法学部2年 佐々木明)

青洞書道展での作品展示

去る8月27～29日、青森市民美術展示館にて開かれた第36回青洞書道展で、本学書道部の学生14名の作品が展示された。漢字一文字で力強さを表した作品や、書聖王羲之の『蘭亭叙』の一部を書いた作品などが出展された。会場に多くの作品が並ぶ中、自分の作品を見つけ誇らしげに写真を撮る学生の姿が見られた。これらの作品は日々のたゆまない練習の成果である。日ごろの練習の成果を多くの人に見てもらうよい機会となった。



OB通信

拜啓 青森中央学院大学様

私は、経営法学部8期生・柔道部2期生の大川内佑樹と言います。現在、地元愛知県の株式会社新日本製鐵に勤めています。

新日本製鐵では、その名の通り鉄を製造してまして、主な向け先はTOYOTAなどの自動車産業や、ジュースなどのスチール缶の原板製造業者です。世に溢れている、車や、鉄を原料とするモノ作りに携わっていることに誇りと自信を持っています。

これから就職をされる方、就職活動をされる方、世の中は不景気ですが、自分の力を信じ堂々と道を歩んで下さい。きっと道は開けます。

母校の更なる発展を期待します。

敬具

大川内佑樹 第8期生



青森中央短期大学

輝かしい未来へ - 青森中央短期大学開学40周年記念祝賀会 -

10月23日、青森中央短期大学開学40周年記念祝賀会が国際ホテルにて開催されました。海外からお祝いに駆けつけて下さった方々をはじめ、来賓の方々、卒業生や保護者の方々など400名近いお客様たちと、これまでの短期大学40年の歴史とこれからの輝かしい未来への予感を共有するあたたかい時間を過ごすことができました。

教育そして文化の継承や発展は、その形も成果も目に見えにくいものではありませんが、このような人と人の貴重なつながりの中で成り立っているのだということをしみじみと感じました。新しい世界を翔る若い世代を社会に送り出す者として、情熱と責任の重さを忘れずに邁進していきたいと思えます。 (幼児保育学科 准教授 前田美樹)



学術交流協定締結

10月23日、タイ王国・チュラロンコン大学看護学部、ならびに中国・上海大学国際交流学院との間に学術交流協定を締結した。開学40年を迎え、新たに国際社会へ踏み出す記念すべき第一歩となった。



チュラロンコン大学



上海大学

開学40周年記念講演

「人生を最高に旅せよ！」



10月23日、青森国際ホテルにてベストセラー『超訳 ニーチェの言葉』で知られる白取春彦氏を講師に迎え、開学40周年記念講演会を開催した。

約300名が参加した今回の講演会では、講演会テーマともなった「人生は旅である」という言葉から、宗教による考え方の違い、成り立ちについて、また、自分自身を変えるためには「知識」と「体験」が必要であるといった内容が語られた。さらに、観客からの大小様々な質問に気軽に応じるなど、約1時間という短い時間ではあったが、活気にあふれた講演会となった。

記念植樹



チュラロンコン大学と

学術交流協定締結と開学40周年を記念し、学園内庭園にて記念植樹が行われた。協定を締結した2大学と学生達の手によりナナカマド、シモツケの2種類が植樹され、2大学との末永い交流発展、これからの大学の更なる発展を祈念した。



上海大学と



学生達と



食育活動推進中！！

「あおもり食育サポーター事務局」 本格始動！

本年度本学は「青森県より地域に根ざした食育活動促進業務」の委託を受け、あおもり食育サポーター事務局として県内6地区にあおもり食育コンシェルジュを配置し、あおもりの食育活動を活性化していくこととなった。7月より準備を進め、食育コンシェルジュ6名を配置し、本格的に活動できる体制が整った。

食育コンシェルジュは受入先と食育サポーターの仲介役として、活動受入先と食育サポーターとの連絡調整、食育活動受入先の掘り起し、食育サポーター活動事例発表会の開催などを実施する。また、さまざまな食育教材を作成し、それらの教材を貸出する食育教材バンクの運営も行う。

「あおもりの食育のことなら食育コンシェルジュにまかせて」をめざして、あおもりの食育活動の活性化に精一杯貢献していきたいと思う。



食育啓発事業

未来の食育指導者育成などを目的とした食育啓発事業も、今年度で2年目を迎えた。昨年度は外部からの要請を受けての活動のみであったが、今年度からは要請を待たずに、自主的な活動も行っている。

6月に開催された『わくわく食育カレッジ』では、10名を超える来場者を迎え、学生が準備した、わたあめ作り機・豆つかみゲームなどの各種体験コーナーから、楽しく食育に触れてもらった。そして、7月と10月には高校生を対象に調理実習を開催し、せんべい汁、きりたんぼ鍋といった東北の郷土料理から、その土地の食文化を学生と共に学んでもらった。

「こんなことをやってみたい！」という学生からのアイデアを取り入れ、今後も自由な発想で、今必要とされる食育を、未来の食育指導者達と共に地域へと発信していきたい。



ベトナム教育プログラム参加

私は8月17日から約1ヶ月間ベトナムのタンクオン村立幼稚園に教育派遣員として、教員の音楽指導と子ども達の教育支援といったボランティア活動を行って来ました。幼稚園にキーボードを持ち込み演奏しましたが、子ども達の輝いた眼差しや笑顔は今でも忘れられません。

現地の子ども達は日本の子ども達同様元気いっぱい、一緒に外遊びやリトミックをしたりと、とても楽しく充実した日々を過ごすことができました。また機会があれば、成長した姿を見に訪れたいと思います。(幼児保育学科1年 山内豪士)



生きる力を育む

～福祉・介護体験～

専攻科福祉専攻では昨年度より、青森県福祉・介護人材確保対策事業として、<福祉・介護体験してみませんか>を実施している。中学生・高校生を対象に、近隣の高齢者との触れ合いを通して福祉を知ってもらうというものである。今年度は7回の企画があり、その中には元気な一人暮らしの高齢者との触れ合いもあった。介護が必要な高齢者ばかりではなく、人間として関りあうことも福祉であり、「生きる力」を育む実践を専攻科が中心となり伝えることができ、成長ができたと感じている。



短期大学実習紹介

～看護学科『在宅看護論実習』～

在宅看護論実習は3年生の8・9月に行われる実習です。病院での実習を積み重ねてきた学生が、地域で生活する人々の健康問題を理解し、地域における看護師の果たす役割を学ぶため、訪問看護ステーションや地域包括支援センターなどで実習を行います。学生は看護師と共に、地域で訪問看護サービスを受けながら療養生活を送っている方々の自宅へ訪問し、訪問看護の実際を学びます。

今回の実習では、実際に自宅に訪問し、地域で療養生活を送っている方々と関わらせて頂きました。そこで印象的だったのが、病院の中で見るよりも療養者の方々が生き生きとしていた事です。病院の中では「患者」ですが、一歩外に出れば地域で生活を送る「生活者」です。今回の実習で、生活の基盤は病院ではなく地域にあるのだと実感しました。また、看護師には、「その人らしい生活」を支援するために地域看護の視点が大切になるのだと学びました。

(看護学科3年 中村友梨香)



訪問看護ステーションにて



附属第一・第二・第三幼稚園

浦町保育園

中央文化保育園

いろいろな行事で頑張っています

<保育参観日>緊張しながらも楽しい雰囲気が伝わってきます。



新幹線ごっこ遊びに夢中です



お店屋さんごっこで「いらっしゃい」「まいどありがとうございます」



<社会見学>ちょっぴり知識を高めました。



新幹線の駅は広くてきれいだね



消防学校に行ってきたよ



船の博物館でかっこいい船に乗ったよ

<楽しかった遠足>海や山で思いっきり遊びました。



やっと虫を捕ったよ



海辺で貝拾いを楽しんだよ



動物と仲良しになったよ

<韓国の訪問団>と交流

<りんご狩り>



韓国の人達から手遊び学んだよ



りんごもぎ、なかなか難しいね。



こんなにいっぱい採れました。

附属幼稚園

の先生達活躍しています

一職業講話を経験して一

第一幼稚園 中村里香



この度、青森市内の中学校からゲストティーチャーとして招かれ、幼稚園教諭としての経験を講話しました。中学生がこれから進路を決めることに役に立てられるよう、仕事をする事の喜びや大変さ、夢を持つ事の大切さなど、40分間話しました。先日、中学校からお礼の感想文が送られてきました。「幼稚園の仕事は思っていた以上に大変そうだけど、子供の成長を身近に感じ、子供と一緒に成長できる素晴らしい仕事だと学ぶことができた。」「話を聞いてますます幼稚園の先生になりたいと思った。」などがあり、とても嬉しく思いました。現在、5歳児の年長を担任していますが、毎日が楽しく、やりがいを感じています。今回の講話を経験し、改めて可愛い子どもたちと接することの幸せを実感しています。

一やりがいを感じる毎日一

第二幼稚園 相馬由香里



附属第二幼稚園に勤務して6年目になりました。ずっと憧れていた仕事に就き、今までたくさん子ども達と出会い、毎日を過ごしてきました。どんなに疲れていても子ども達の笑顔に励まされ頑張っています。今年度、年少組を担当していますが、春入園してきた時は泣いていたり、落ちつかない状態でしたが、園生活に慣れ、自分でできる事も増え、友だちとの関わり合いを楽しむようになったりと、著しい成長を感じています。一人一人どうすれば成長できるかを考えながら関わり援助していますが、その成長を目の当たりにする時、とても嬉しく、やりがいを感じます。日々、子ども達の発想に驚かされ、つぶやきから活動が広がっていくことを実感し、子どもから学ぶことばかりです。これからも子どもの成長を見守り、楽しく過ごしながらも私自身、保育者として成長していきたいと思っています。

一笑顔を絶やさずに一

第三幼稚園 嶋田菜緒子



私が受け持つ年少組は、幼稚園で初めて集団生活を体験する子がほとんどです。保護者と離れるのを嫌がり、涙を流しながら登園してきた4月。少しずつ慣れてきた園生活の様子を保護者に見てもらった保育参観。かけっこもお遊戯も応援も一生懸命頑張った運動会。いろいろな行事と日々の生活の中で友達同士との関わりから自分一人で出来ることや相手を思いやる事が少しずつ増え、心も体も成長する姿を目にする度に、保育者としての喜びを感じる毎日です。また、自分自身が親となったことで、「保護者」の目線から子供たちへの保育に取り組めるようにもなりました。たくさんの可能性に満ち溢れている子供たちの笑顔をこれからも絶やさず、一緒に明るい園生活を過ごしていきたいと思っています。

父母と教師の会 幼稚園祭を終えて

第一幼稚園



今年の幼稚園祭は、園児や保護者の他に、沢山の方々が来て、大盛況の幼稚園祭となりました。何と言っても一番人気は棒パンでした。初登場の白玉ぜんざいやパフェも大好評でした。お父さんやお母さん達の活躍で、楽しい幼稚園祭でした。
(副会長 貝森節子)

第二幼稚園



小雨の降りしきる中ではじまった幼稚園祭でしたが、役員さんをはじめ皆様(縁の下の力持ちのお父さん方)の協力のおかげで盛大に行うことができました。子供たちも十分楽しめた一日でした。
(会長 山田寿美子)

第三幼稚園



今年は準備から後片づけまで、とてもスムーズで、その段取りの良さには「驚きと感動」すら覚えました。私が関わった6年間の中で一番手際が良かったのでは…?と感じています。第三幼稚園の団結力にプラボー!そして、幼稚園祭に関わったすべての人に「感謝!!」
(会長 渡辺広美)

<農林水産省> 一食育実践活動推進事業一 に参加して



第一幼稚園 父母と教師の会副会長 仲沢 麻美

10月12日に行われた「食育実践活動推進事業」に参加させて頂きました。小児科の先生のお話では、青森県の肥満児の割合が全国平均よりも高いと聞き、身近な問題であるのだと感じました。管理栄養士の先生からは、「食事バランスガイド」につい

での説明があり、目にしたことはあっても、意味を理解していなかったことを反省し、今後は食事の際に活かしていこうと思いました。その後のお弁当作りごっこを通しては、バランスの良い食材選びについて親子と一緒に楽しく学ぶことができました。普段通いなれた幼稚園内で、食を見直すきっかけを頂き、充実した時間を過ごすことができました。



青森中央文化専門学校／青森中央経理専門学校

職場実習で目指す企業を体験

青森中央文化専門学校では、授業で学んだ知識や技術をより高めるため、職場実習を通してアパレル業界の雰囲気を感じ、社会に必要な知識・技術・コミュニケーション力を学んでいます。

今年は(株)メゾン、(有)ユー・エス・ピー・アソシエーションにご協力を頂き、自分たちの目標としている企業を体験させて頂きました。

長谷川 美里

8月16日から28日まで、(有)ユー・エス・ピー・アソシエーションへ職場実習に行ってきました。パターンメイキングやサンプル縫製の補助を行った他、展示会のサンプルを納品するために(株)トゥモローランドへ連れて行っていただきました。実際にアパレル業界で活躍するプロ達の仕事に触れ、自分の目指す道がはっきりしてきました。この研修で学んだことを忘れずに、残り半年を有意義に過ごしたいと思います。



中村 和美

私は9月27日から2週間、(有)ユー・エス・ピー・アソシエーションで職場実習をしてきました。

実習では、裁断やトワール作成、パターン作成などの作業をしてきました。初めて経験することも多く、失敗もありましたが、製品が作られていく過程やミリ単位での作業など学ぶことや刺激になることがとても多く、充実した毎日を経験することができました。

また、働くことや自分自身について、改めて深く考えるとても良い機会になりました。今回の実習を通して学んだことや感じたことを活かして、卒業までの残り少ない時間をより有意義なものにしていきたいと思っています。



職場実習（内定者インタビュー）

豊川 茅

夏休み期間を利用し、(株)メゾンに職場実習に行ってきました。実習を通して学んだことは、モノを売るということがいかに大切かということです。いくら自分の好きな物を作ったとしても、商品を販売して利益につながらなければ、経営の面でも、ものづくりという面でも、うまく流通していかないのだということを痛感しました。

流通の仕組みを肌で感じ、今後販売や企画を職業にしたいという目標に少し近づけたような気がします。



卒業生PICK UP

青森中央経理専門学校
平成21年度卒業

No.12

宇野 翔太（株クボタ）

農機販売という経理とは異なる分野に就職したものの、学生時代に取った資格はさまざまな所で生きています。パソコンの知識はもちろん、簿記や計算能力の他、私生活ではFP等、今では頑張った良かったと思えるものばかりです。

勉強や遊びに時間を多く費やす事の出来るのは、学生の特権だと思います。後輩には「今」を大切に、学生生活に悔いが残らないよう、勉強する時は勉強し、遊ぶ時はとことん遊んで欲しいと思います。



青森県専門学校フェア

11月5日、青森中央文化専門学校、青森中央経理専門学校は、青森県専修学校各種学校連合会主催「2010青森県専門学校フェア」に参加しました。

青森中央文化専門学校では、ヘアアートカレッジ木浪学園とのコラボ企画として、「本物のドレスを着てトータルコーディネート体験！」を行い、学生がデザイン・制作したドレスを高校生に着用してもらいました。また「ファッションのお仕事」では実際にファッションアドバイザーとして活躍している卒業生の1日をVTRで紹介、「ちょっと手作りレッスン」では手作りアクセサリーの製作をしました。

また青森中央経理専門学校では、「トレーダー体験」で株式売買シミュレーション体験、「マネー・ザ・ベストテン」で資産運用・相続等、FPに係わるテーマをランキング形式で紹介し内容を解説、「知って役立つ！医療用語」で健康診断での項目と略語・点数（金額）についての紹介など、多数のプログラムに自由に参加して頂きました。



学生によるパソコン教室

11月6日青森中央経理専門学校では、一般の方を対象に、学生による無料パソコン教室「オリジナル年賀状の作成」を開催しました。

企画や広報、当日のインストラクションまで経験した学生たちは、組織として取り組むことの難しさを感じ、達成感を得ることができました。

参加者の方からは、「次回もまた来たい」という感想を頂き、学生たちは更なるスキルアップの意欲へと繋げることができました。



デザイン画コンクール入賞

青森中央文化専門学校 豊川 茅さん

第25回連鎖校協会ファッションデザイン画コンクールに於いて、青森中央文化専門学校専門課程2年豊川茅の作品が特別賞（鈴屋賞）を受賞し、11月3日、文化服装学院での表彰式に出席しました。

デザイン画は文化服装学院で開催された文化祭で展示され、「自分のデザインを様々な人に見てもらえて嬉しい。社会に出たらこの遊びを実践に活かしたい」とファッション業界での就業意欲を高めることができました。



電子カルテ実技検定試験にチャレンジ

青森中央経理専門学校医療事務コースの学生は、11月13日に行われた電子カルテ実技検定試験にチャレンジしました。

現在、医療事務業務を遂行する上で、電子カルテシステムを操作し、電子カルテを作成する能力を身に付けている人材に期待が高まっています。今後も、医療事務作業補助者でも期待される、電子カルテの代行入力を遂行できる能力を身に付け、時代の求めに随時対応し、実務で活用できることを目指します。

FPフォーラム

11月6日、日本FP協会青森支部主催のFPフォーラムに青森中央経理専門学校の学生が参加しました。「お金と社会生活～FPが疑問にお答えします～」という学生とFP協会の方々とのコラボ企画で、お金にまつわる様々な疑問とその解決策を寸劇形式で披露しました。台本作りから携わってきた学生たちは、フォーラム終了後、やり遂げたという達成感に満ちていました。



Bunka Fashion Live 2010 に向けて ～ピンクリボンウォーク IN あおもり2010 参加～

青森中央文化専門学校では12月18日に開催する Bunka Fashion Live 2010 に向け、10月1日ピンクリボンウォークに参加しました。今回のテーマ「loop ～未来のために創る服～」に基づき、自分以外の誰かのためにというコンセプトで、人と人とのつながりを感じ取りながら、ショーの企画や衣装制作に取り組んでいます。

自分たちで制作したピンクのアクセサリなどを身に付けて参加した学生達は、自分たちの年齢から健康に気をつけることを学び、今後の制作意欲を高めることができました。



ファッション甲子園／青森市民文化祭

青森中央文化専門学校では、ファッション販売等の授業で学んでいるVP（ビジュアル・プレゼンテーション）の一環として、ファッション甲子園（全国高等学校ファッションデザイン選手権大会）、青森市民文化祭で制作作品の展示を行いました。

ファッションアドバイザーを目指している学生たちは、ボディの高さや配色など、レイアウトにも気を配り、気持ちを込めてディスプレイをしました。

当日はたくさんの人に見ていただき、好評を得ることができました。



青森田中学園 H22年度後期分

インフォメーション広場

Bunka Fashion Live 2010

12月18日(土) 開催 アウガ5階AV多機能ホール 1st 14:00~ 2nd 16:00~



青森中央文化専門学校では12月18日、Bunka Fashion Live 2010を開催します。今年度はテーマ「loop」~未来のために創る服~と題し、ターゲットを決め、自分以外の誰かのために考案したオリジナル作品を発表します。

青森中央短期大学 卒業記念公演 12月4日(土)開催. Includes details for two performances at AOSK and a community gallery.

青森中央学院大学

公開連続授業「わが郷土の歴史・産業・文化等について学ぶ」13:00~14:20

Table with 4 columns: 回数, 期間, テーマ, 講師. Lists three sessions on local history and industry.

青森中央短期大学

親子クッキング

Table with 4 columns: 開催日, 時間, 内容. Details a Christmas cooking event for parents and children.

オープンキャンパス

2月26日(土) 時間: 13:00~16:00

Table with 2 columns: 内容. Lists various open campus activities like department tours and seminars.

青森中央短期大学附属第一・第二・第三幼稚園 中央文化保育園・浦町保育園

平成23年度 入園願書受付開始 11月1日(月)~随時受付中

Table with 6 columns: 施設名, 入園日. Lists enrollment dates for various kindergartens and nurseries.

イルミネーション点灯式

日時: 平成22年12月1日 場所: 大学正門前. Details the lighting ceremony for Christmas illuminations.

入試日程

青森中央学院大学

Table with 6 columns: 選考方法, 出願期間, 試験日, 合格発表, 試験会場. Lists admission schedules for various departments.

青森中央短期大学

【食物栄養科・幼児保育学科・看護学科】

Table with 6 columns: 選考種別, 出願期間, 試験日, 合格発表, 試験会場. Lists admission schedules for specific faculties.

【専攻科福祉専攻】

Table with 6 columns: 選考種別, 出願期間, 試験日, 合格発表, 試験会場. Lists admission schedules for the Social Welfare major.

青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

Table with 4 columns: 選考区分, 願書受付期間, 試験日, 合格発表. Lists admission schedules for vocational schools.

公開講座・催し物のお問い合わせ 学校法人 青森田中学園 公開講座担当 Tel: 017-728-0121 / Fax: 017-738-8333

編集委員 中村 實枝子 坪谷 輝子 編集長 加藤 澄 牧野 晴子 中田 尋美